

平成26年4月8日

せんげん公園支隊 情報・広報班

4月を迎えました。桜の花は今年も見事に咲きました。平成26年度を迎えせんげん支隊も新しい陣容でスタートしました。今年度もよろしくお願ひします。「地震災害は過去の歴史を知ることが最高の予防対策になる」という言葉があります。今年度の支隊便りでは過去の地震のことも書いてみたいと考えています。



1 4月・5月の活動計画

- ① 4月6日(日) 支隊長・班長会議
- ② 4月13日(日) 小川自治会総会
- ② 4月27日(日) 小川自主防災隊責任者全体会議

2 2014年度支隊組織編成

1月に実施したアンケートに基づき、3月当初から2014年度の組織編成に取り組んできました。現在、ほぼ完成の域まで来ましたが、調整が必要などころがあり、皆様にお示しするのは5月になります。

今回のアンケートでは、留任と答えていただいた方が44名、新たに班長もしくは活動隊員希望とお答えいただいた方が38名いらっしゃいました。また、昨年は支部・班(自治会)でかなり人数にアンバランスがありましたが、今年はそれがかなり解消されました。ただ今年は希望の内容にかなりアンバランスがあり、新規の方の希望の半数以上が給食給水班に集中しています。現在調整を進めているところです。

3 第1回支隊長・班長会議

4月6日(日)に第1回支隊長・班長会議を開催しました。2014年度の活動が開始しました。主な議題は、支隊長・班長の顔合わせに続き、2013年度の活動記録の報告と総括、2014年度の活動計画(案)の提示、非常時における防災隊の活動などです。班長様には4月早々でお忙しい中でしたが多数ご出席いただきました。今年1年よろしくお願ひします。詳しくは次号でご紹介します。

4 首都直下地震 専門家が警鐘「5年以内にM7以上が17%の確率で起きる」東北大 遠田晋次教授

東北大の遠田晋次教授(地震研究学者)らが「首都直下地震の確率は5年以内にM7以上が17%」という研究結果を発表した。(日刊ゲンダイ3月12日掲載)

首都直下地震とは南関東直下地震の別称である。茨城県南部、千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県の下30~80キロを震源として、歴史的に繰り返し発生するM7級の巨大地震のことを言う。首都圏の中心地域であることから首都直下地震、東京に焦点を絞った場合東京直下地震ともいう。(1923年の関東大地震などはこの中には入らない。)

歴史的には平均約24年間隔で発生してきたと言われている。しかし、50~60年の間隔を置く場合もあり、直近の直下地震は1987年に千葉県東方沖で発生した地震で、その後現在まで27年間起こっていない。よく今後30年以内に70%の確率で起きると言われるのはこのことも根拠の一つである。

首都直下地震については、予知は100%不可能であり、勿論どこで起きるかもわからない。東京湾かもしれないし、多摩地方かもしれない。東京のどこかで発生した場合、小川地区では震度6弱の揺れが襲う可能性がある。とにかく日頃からの備えが何よりも大切です。①震度6弱にも耐える家。②自宅から火事を出さない。③1週間分の食料と飲料水・雑用水の備蓄。これだけ備えれば生き延びることができます。